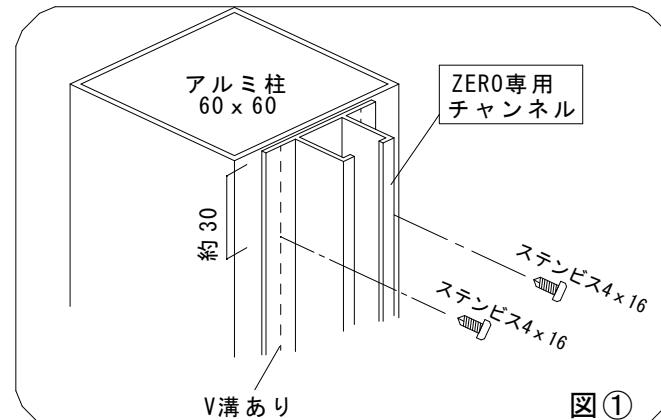


【施工上の注意事項】

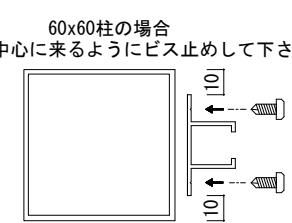
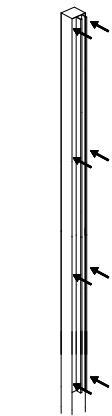
- 製品の組み立て・施工は必ず施工説明書に従って行ってください。
- スタイルフェンスは目隠しフェンス用の部材です。
強度が必要な防護柵や、高所の手すりには使用できません。
- 製品を危険と思われる場所や、緊急避難用通路の妨げになるような場所に設置しないでください。
- アルミ材や製品の切り口には、バリが残る場合があります。
怪我をする可能性がありますので取り扱いには注意してください。
- 施工後の残材は他の一般廃棄物と区別し、
素材別に分別してから適切な処理をして下さい。
- スタイルフェンスは素材の特性上、温度差による伸縮・板の反りが発生する場合があります。
- スタイルフェンスは原料にリサイクル材を使用しているため
ロットにより色ムラ・色差が生じる場合があります。
(特に部材の交換や追加工事の場合は、既存の部材と色差が生じやすくなります)
- スタイルフェンスは、必ず平坦な場所に平置きして下さい。
(立て掛けたり、段差のある場所に置くと板が変形する場合があります)
- ブロック上にアルミ柱をたてる場合は、アルミ柱に必ず直径4mm以上の水抜き穴をあけて下さい。
又、耐風圧を考慮しブロックの強度が十分かご確認下さい。
- 水が凍結する可能性のある地域では、アルミ柱の埋め込み部分に浸水防止材(発泡スチロール・下部キャップ等)を入れるなど凍害対策をとって下さい。
(弊社アルミ材に浸水防止材は含まれておりません)
- コンクリート(またはモルタル)には強塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤(凍結防止剤・凝固促進剤・急結剤)や塩分の含む砂(海砂)等は使用しないでください。
柱の腐食が促進され破損事故につながる恐れがあります。
- 風当たりの強い場所、積雪の多い場所や、地盤の弱い場所で施工する場合、控え柱等の補強が必要です。

【ご使用上の注意事項】

- 本製品にぶらさがったり、のぼったりしないで下さい。
- 重たいものを立て掛けたり、一点に衝撃を加えると破損の原因になります。
- 汚れを落とす際には、製品表面に傷がつかないよう柔らかい布か、スポンジで水洗いして下さい。
- 汚れがひどく洗浄する場合には、家庭用中性洗剤を薄めて使用して下さい。
- 製品の近くで火気を使用しないで下さい。



図①

40x40柱の場合
※チャンネルと柱は同じ幅です。60x60柱の場合
※柱の中心に来るようビス止めして下さい。H=1200以上は
ビス止め8ヶ所H=1200未満は
ビス止め6ヶ所

①アルミ柱にZERO専用チャンネルを取り付けます。

ZERO専用チャンネルをビス止めします。最上部は上面から約30mm下がった場所、

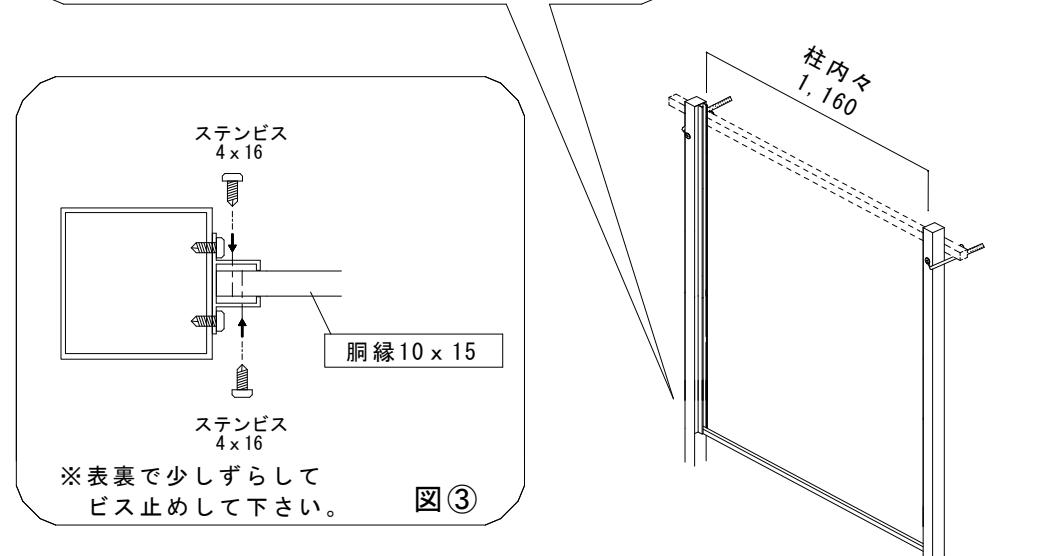
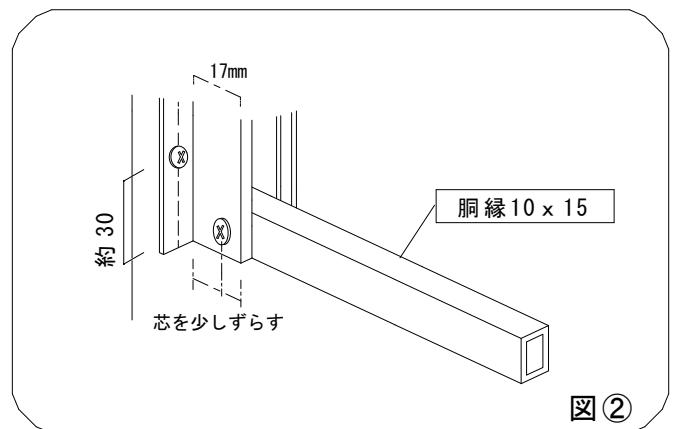
最下部は、専用チャンネル下面から約30mm上がった場所にビス止めします。図①参照

※ビス止め箇所に穴は開いておりません。

必ず3.2mm程度の下穴をあけてビス止めしてください。

※H=1200以上はビス止め8ヶ所・H=1200未満はビス止め6ヶ所です。

※ステンビス4×16使用



②最下部にアルミ胴縁を取り付けます。

専用チャンネルの最下部にアルミ胴縁 10×15 を取り付けます。

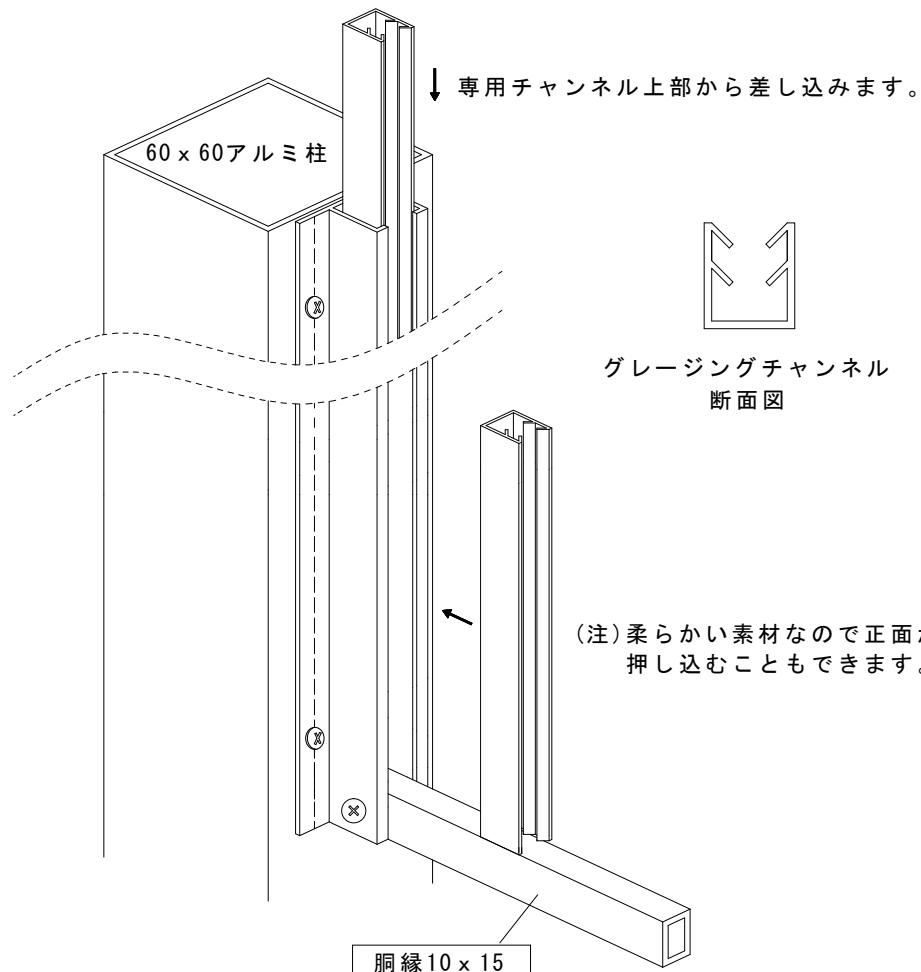
表・裏側ともに1本ずつ、干渉しないように少しづらしてビス止めします。 図②, ③参照

必ず下穴をあけてからビス止めしてください。 ※ステンビス 4×16 使用

胴縁を繋ぎながら、柱もしっかり固定して下さい。

※柱の上部が開かないように、アルミバー材などをクランプで仮固定しておくと

後の作業がし易くなります。（固定用のバー材等は商品に含まれておりません）



③専用チャンネル内部にグレージングチャンネルを入れ込みます。

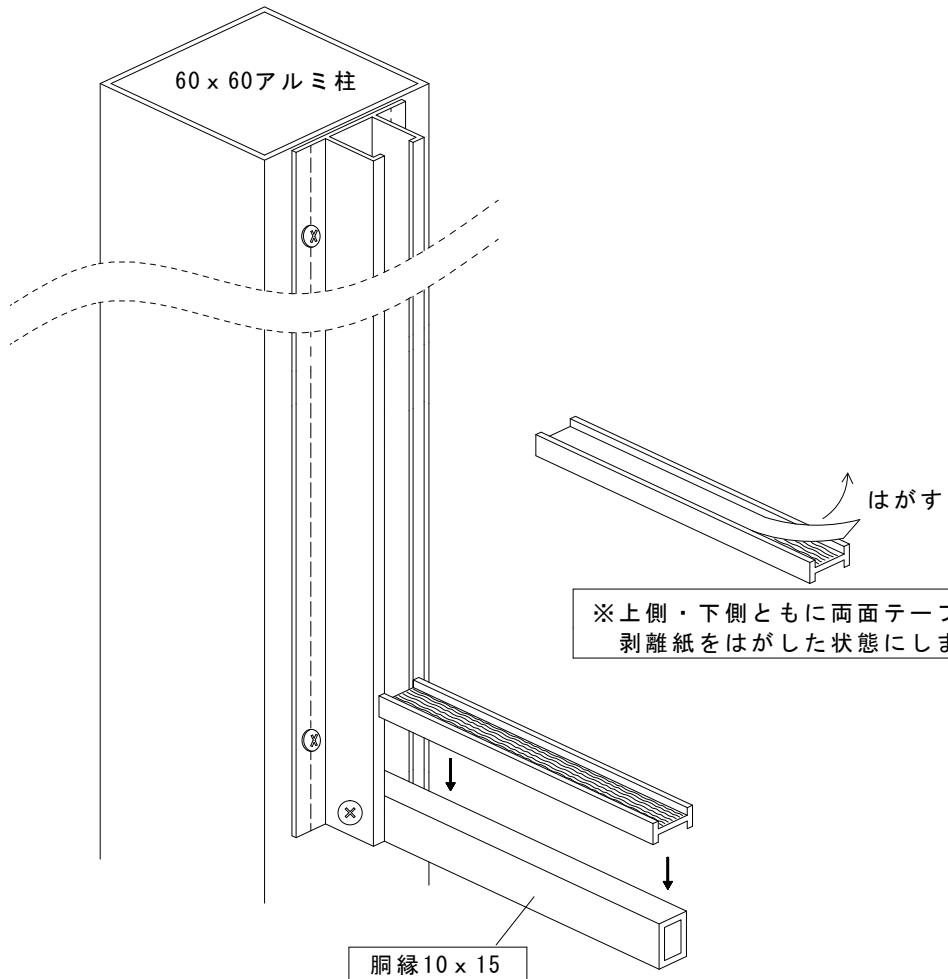
グレージングチャンネルを専用チャンネルの寸法-40mmにカットします。

専用チャンネルの上部からスライドさせてグレージングチャンネルを挿入します。

グレージングチャンネルは柔らかい素材ですので、上図の(注)のように

チャンネル正面から押し込むことも可能です。

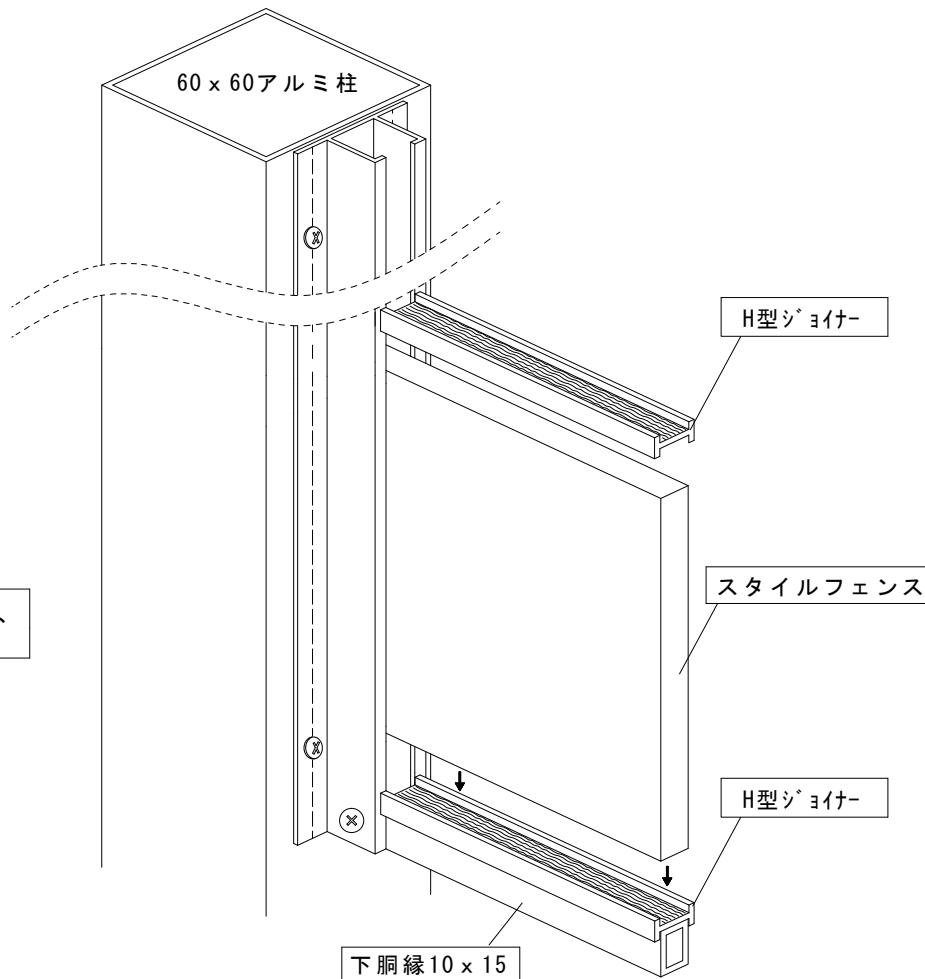
②で取り付けたアルミ胴縁にあたるまで入れてください。



④H型ジョイケ-を、胴縁に固定します。

H型ジョイケ-の上・下の両側に専用両面テープを張り付けます。

両面とも剥離紙をはがし、胴縁の上に固定して下さい。



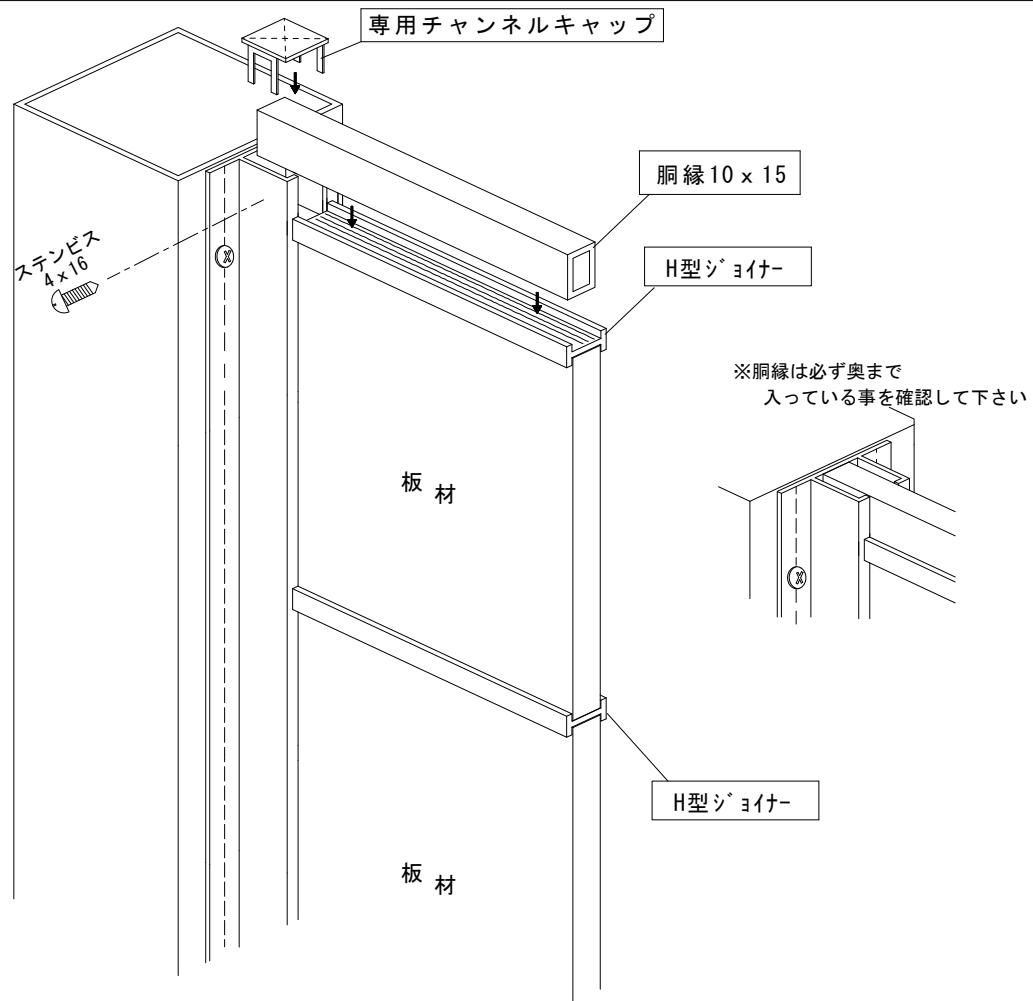
⑤板材を固定します。

④で取り付けたH型ジョイケ-の上に板材をのせます。

板材は専用チャンネルの上からゆっくりと落とし込んで下さい。この時、板材が専用チャンネル内でグレージングチャンネルにかかっていることを確認してください。

その後、H型ジョイケ- → 板材 → H型ジョイケ-を最上部まで繰り返します。

※板材部分には、スタイルフェンスかスタイルフェンスZERO専用板材が入ります



⑥最上部に胴縁を取り付ける。

最上部のH型ジョイナーの上に胴縁を乗せ、その上から専用チャンネルキャップをつけます。

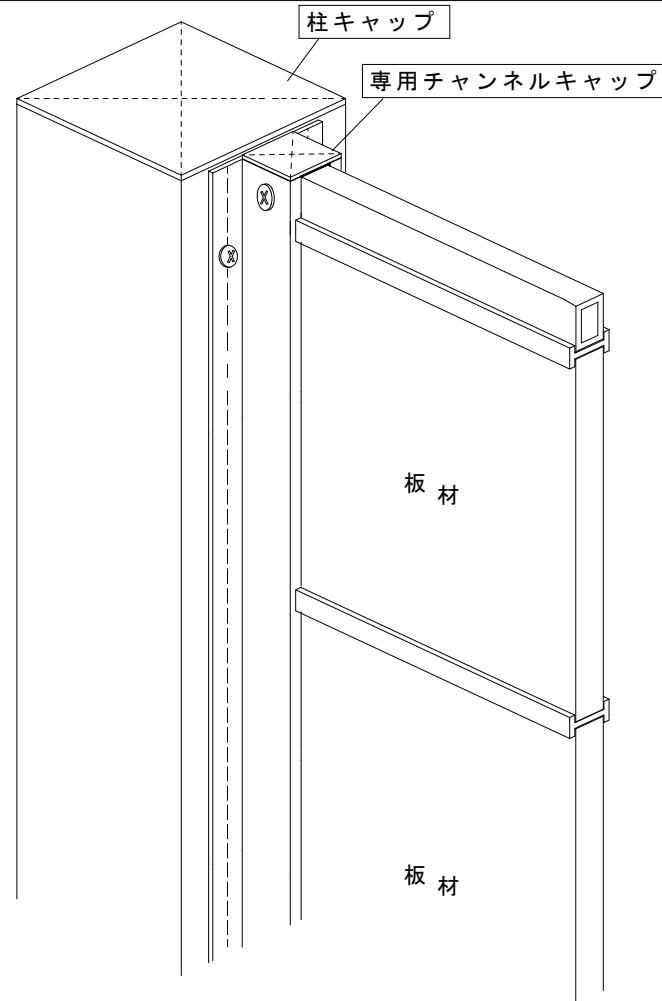
胴縁が専用チャンネルの奥まで差し込まれているのを確認してからビス止めして下さい。

②で取り付けた胴縁と同じように両側から1本ずつ、表裏で少しづらして、

下穴をあけてからビス止めしてください。

注: 必ず専用チャンネルキャップをした後にビス止め固定して下さい。

※ステンビス4×16使用



⑦柱キャップをつける。

柱キャップつけて完成です。

施工後はフェンスの汚れ等を柔らかい布で水拭きして下さい。